

ふんばろう東日本支援プロジェクト 2012年度事業報告書

1. 概要

2011年3月11日、1000年に一度といわれる未曾有の大震災が東日本を襲いました。2011年4月1日に、被災地支援を目的として任意団体「ふんばろう東日本支援プロジェクト」(以下「ふんばろう」)は発足しました。その活動は瞬く間に全国に広がり、2012年12月31日をもって2期目が終了しました。

緊急の物資支援から始まったふんばろうの活動は、立ち上げてから約2年の間に50以上のプロジェクト、支部、運営チームを同時並行で運営する、約2,800名(2011年12月31日時点)を擁する「日本最大級のボランティア団体」となり、日本赤十字社、経団連、参議院、内閣府等にも認められ、いくつもの公式シンポジウム・イベント等に招聘されるようになりました。

2期目は、物資支援関連のプロジェクトが終了となる一方、学校等学習環境が整っていない子供たちを対象とした学習支援プロジェクトや、重機免許取得プロジェクト、ミシンでお仕事プロジェクト、サンドバッグプロジェクト等の被災者の自立支援や経済的復興を推進するプロジェクトに軸足が移りました。

継続的にふんばろう東日本支援プロジェクト全体の活動に支援していただけるよう、毎月一口1000円から、定額を金融機関口座引き落としにて支援できる仕組みを構築し、2011年12月中旬に募集開始しました。2012年12月末までに800件を越すお申込み、及び合計18,132千円もの支援金が集まり、今日のふんばろうの活動を資金面から支えていただいております。

支援金を拠出した主な活動としては、厳しい寒さに耐えている被災者へこたつやホットカーペット等を届ける「冬物家電プロジェクト(16,180千円)」、被災者自身の生活再建や再就職に有効な「重機免許取得プロジェクト(16,258千円)」、仕事とやりがいを提供する「ミシンでお仕事プロジェクト(10,983千円)」、「手に職・布ぞうりプロジェクト(4,649千円)」、ワカメの養殖に欠かせないサンドバッグを提供する「サンドバッグプロジェクト(3,621千円)」、学習環境が十分でない学生の勉強をサポートする「学習支援プロジェクト(1,898千円)」等があります。

当初予定していた「重機免許取得プロジェクト」の追加開催分と、「学習支援プロジェクト」、「復興支援プロジェクト」、「防災プロジェクト」といった継続・新規プロジェクトに対する分配により、約50,000千円の予算執行が第3期目にずれ込みましたが、それらを差し引くと、来期への繰越金は約25,100千円という状況であります。

2. 2012年度運営体制の報告

2-(1) 会員数: 約2,800人(2012年12月31日時点)

※facebookの「Fumbaro_allグループ」の登録人数

2-(2) 会議

① 全体ミーティング(2011年度に続き開催)

【目的・概要】

早稲田大学にて、東日本大震災被災者の支援活動状況の共有や、西條代表から全体の方向性について伝える場、また、実行中のプロジェクト・支部・チーム(班)の紹介・意見交換の場として開催しています。

2011年は毎月開催されましたが、2012年は、1.5ヶ月～3ヶ月に一度のペースで開催されました。

【実施日】

- ・第12回 全体ミーティング 2012年 1月15日
- ・第13回 全体ミーティング 2012年 2月12日
- ・第14回 全体ミーティング 2012年 5月13日
- ・第15回 全体ミーティング 2012年 7月 8日
- ・第16回 全体ミーティング 2012年 9月22日
- ・第17回 全体ミーティング 2012年11月11日

② 各プロジェクト・支部・班のミーティング

【目的・概要】

個々のプロジェクト・支部・班の活動を具体的に進めるための打ち合わせで、会議の頻度も、内容もリーダーを中心にプロジェクトの進捗に合わせて実施されます。

【実施日】

- ・プロジェクト・支部・班ごとに随時開催

3. 各プロジェクトの活動報告

各プロジェクトの活動実績に関しては、ふんばろう東日本支援プロジェクトのホームページ (<http://fumbaro.org/>)にて記載しておりますので、割愛させていただきます。

2013年3月